

第 3 章

事業内容

第1 監視・指導

当係が所掌する2箇所3卸売市場の食品関係営業施設129施設(256業種)に対し、延べ3,977施設の監視を実施した。

1 大宮市場における早朝監視指導

生鮮魚介類のせり売り営業が行われている大宮市場(埼玉県水産物地方卸売市場)について、午前3時30分から勤務につき、せり開始前に監視指導を行い、不良食品を排除し、事故の発生の未然防止に努めた。

(1) 生食用鮮魚介類の保存温度の遵守指導

放射温度計を用いて生食用鮮魚介類の品温を測定し、保存基準を遵守させることに努めた。

(2) 貝毒発生状況の把握について

貝類は春先から下痢性・麻痺性貝毒による毒化が見られ、各地沿岸で出荷団体により出荷自主規制される。規制等の動向を把握し安全証紙、採捕年月日及び生産海域等を確認し、ホタテガイ等の流通の安全確保に努めた。

(3) 生カキ(生食用むき身、生食用殻付、加熱調理用むき身)について

生カキ(マガキ)は、例年10月初め頃から翌年3月頃まで流通している。これらに対しては、低温流通を指導するほか、生食用・加熱加工用の別、生食用のものにあっては採取された海域又は湖沼、加工所所在地・氏名及び加工年月日など、適正な表示がなされているかどうかの確認を行った。

(4) フグについて

フグは未処理またはいわゆる「身欠き」の状態を取り引きされており、種類別では大部分がトラフグで稀にカラス、シロサバフグ、クロサバフグ、ショウサイフグ、コモンフグ、マフグ、またはシマフグが入荷・販売されている。

これらフグの取り扱いに関する規制は平成15年4月1日から「埼玉県ふぐの取扱いに関する条例」が施行されている。この条例に基づき、市場内に流通する未処理フグについては種類の鑑別を、身欠きフグについては表示等により種類の確認を行い、有毒フグ等が流通しないよう事故防止に努めた。

また厚生省生活衛生局長通知により有明海及び橘湾、香川県及び岡山県瀬戸内海域で漁獲されるナシフグについては、有毒部位から筋肉部へのフグ毒の移行を防止するための措置が適切に実施された場合は、販売を認めることとなった。これに伴い、不適切なナシフグの流通の防止に努めた。

2 浦和市場の監視指導

浦和市場では、せり売りが行われるのは青果物のみで、生鮮魚介類をはじめその他の加工食品は仲卸店で取り引きされている。

これらの仲卸店に対しては、食品等の衛生的な取り扱いや要冷蔵食品の温度管理、適正表示等食品衛生法の遵守を指導したほか、市場内の廃棄物処理施設の維持管理や場内清掃など卸売市場の清潔な環境維持についても指導を行った。

3 市場衛生ニュースの発行

第1号～第6号 [通算 第97号～102号] (第5章に掲載)

細菌性食中毒の発生状況に基づいた注意喚起、アニサキスに係る情報、つぶ貝の取り扱いについての情報、ノロウイルス食中毒の注意喚起、ふぐの取り扱いについての情報及び営業届出制度についての情報について市場衛生ニュースを作成して市場内関係業者に配布し、食品衛生知識の普及啓発を図った。

4 衛生教育

例年、市場内の衛生管理向上のため、卸売業者、仲卸業者、飲食店等食品衛生事業者を対象に食品衛生講習会を開催しているが、本年度については新型コロナウイルス感染症の流行状況を鑑み講習会の開催を見合わせ、各業者に HACCP に沿った衛生管理についての資料等を配布し個別に説明を行った。

第2 試験・検査

市場及び市内に流通する生鮮魚介類、野菜果実、加工食品等について、計 176 検体、延べ 17,817 項目について収去及び買上検査を実施したので、主な結果を後述する。

平成 23 年に発生した福島第一原子力発電所の事故による放射性物質の漏えい等に伴い、令和 2 年度も引き続き市内を流通する農水産物の放射性物質検査を実施した。

また、監視指導の一環として、大宮市場内の活魚水槽水を対象に腸炎ビブリオ汚染実態調査を、卸売市場セリ場を対象に衛生状況の確認の為にふき取り検査を実施した。

1 魚介類等の検査

(1) 魚介類の放射性物質検査

当市では平成 17 年度より日本海産魚介類を対象に放射能検査を実施してきた。平成 23 年度からは原発事故の発生を受け、東日本海域産の魚介類について放射性物質検査を実施している。令和 2 年度は 7 検体について検査を実施した。結果は全て基準内であった。

(検査機関：さいたま市健康科学研究センター)

| | 検体 | 産地 | 測定結果 (Cs134, Cs137 の合計) |
|---|------|-----|-------------------------|
| 1 | ホウボウ | 茨城県 | < 4.4Bq/kg |
| 2 | マダイ | 茨城県 | < 5.0Bq/kg |
| 3 | スズキ | 千葉県 | < 3.6Bq/kg |
| 4 | マサバ | 宮城県 | < 3.8Bq/kg |
| 5 | カツオ | 宮城県 | < 4.2Bq/kg |
| 6 | ヤリイカ | 福島県 | < 4.1Bq/kg |
| 7 | ワラサ | 千葉県 | < 1.6Bq/kg |

検査機器：ゲルマニウム半導体検出器

(2) 魚介類の微生物検査

ア かきの検査

生食用かき 3 検体について、微生物の検査を実施した。

結果は全て基準内であった。

(検査機関：さいたま市健康科学研究センター)

| No | 検体 | 生産県 | 細菌数 | E. coli 最確数 | 腸炎ビブリオ最確数 |
|----|-------|-----|--------|-------------|-----------|
| 1 | 生食用かき | 兵庫県 | <300/g | <18/100g | <3.0/g |
| 2 | 生食用かき | 宮城県 | <300/g | <18/100g | <3.0/g |
| 3 | 生食用かき | 宮城県 | <300/g | <18/100g | <3.0/g |

イ 生食用鮮魚介類の検査

生食用鮮魚介類 11 検体について、微生物の検査を実施した。

結果は全て基準内であった。

(検査機関：さいたま市健康科学研究センター)

| No | 検体 | 産地 | 腸炎ビブリオ最確数 |
|----|--------|-----|-----------|
| 1 | きびなご刺身 | 熊本県 | <3.0/g |
| 2 | アオヤギ貝柱 | 千葉県 | <3.0/g |
| 3 | うに | 北海道 | <3.0/g |
| 4 | うに | 北海道 | <3.0/g |
| 5 | 帆立貝柱 | 宮城県 | <3.0/g |
| 6 | 赤貝 | 韓国 | <3.0/g |
| 7 | うに | 北海道 | <3.0/g |
| 8 | ほや | 宮城県 | <3.0/g |
| 9 | 帆立貝柱 | 宮城県 | <3.0/g |
| 10 | 帆立貝柱 | 北海道 | <3.0/g |
| 11 | うに | 北海道 | <3.0/g |

(3) 貝毒検査

二枚貝の麻痺性貝毒について、計 8 検体の検査を実施した。
結果は全て基準内であった。

(検査機関：さいたま市健康科学研究センター)

| No | 検体 | 生産地 | 検査結果 |
|----|------|-----|----------|
| 1 | シジミ | 茨城県 | 2MU/g 未満 |
| 2 | アサリ | 埼玉県 | 2MU/g 未満 |
| 3 | アサリ | 北海道 | 2MU/g 未満 |
| 4 | シジミ | 島根県 | 2MU/g 未満 |
| 5 | アサリ | 埼玉県 | 2MU/g 未満 |
| 6 | シジミ | 茨城県 | 2MU/g 未満 |
| 7 | シジミ | 茨城県 | 2MU/g 未満 |
| 8 | アオヤギ | 三重県 | 2MU/g 未満 |

(4) 魚介類の理化学検査

魚介類 4 検体について有機スズ (TBTO 及び TPT) の検査、7 検体について残留動物用医薬品の検査を実施した。

結果は全て基準内であった。

(検査機関：さいたま市健康科学研究センター)

ア 有機スズの検査

| No | 検体 | 出荷地等 | TBTO | TPT |
|----|------|------|------|----------|
| 1 | ハマチ | 大分県 | 不検出 | 不検出 |
| 2 | カンパチ | 愛媛県 | 不検出 | 0.005ppm |
| 3 | マダイ | 愛媛県 | 不検出 | 不検出 |
| 4 | ヒラメ | 韓国 | 不検出 | 0.008ppm |

※TBTO 及び TPT の定量下限値：0.004ppm

※昭和 60 年 4 月 26 日衛乳第 18 号「魚介類中のビストリブチルスズオキシド(TBTO) について」及び平成 6 年 2 月 25 日衛乳第 20 号「魚介類中の有機スズ化合物について」に基づき検査を実施した。通知では、規制値が定められていないため検査結果は参考値として扱った。

イ 残留動物用医薬品の検査

| No | 検体 | 産地 | 検出物質 |
|----|-------|-----|------------------|
| 1 | ハマチ | 大分県 | キシトサイクリン 0.03ppm |
| 2 | カンパチ | 愛媛県 | 不検出 |
| 3 | マダイ | 愛媛県 | 不検出 |
| 4 | ヒラメ | 韓国 | 不検出 |
| 5 | 生食用かき | 兵庫県 | 不検出 |
| 6 | 生食用かき | 宮城県 | 不検出 |
| 7 | 生食用かき | 宮城県 | 不検出 |

※検査項目詳細：35 ページ参照

(5) 魚介類加工品の理化学及び微生物検査

魚介類加工品 15 検体について添加物及び微生物の検査を実施した。

結果は全て基準内であった。

(検査機関：さいたま市健康科学研究センター)

ア 魚卵の検査

| No | 検体 | 着色料 | 甘味料 | 保存料 | 亜硝酸根 |
|----|-----|-----------|-----|-----|------------|
| 1 | 明太子 | 赤 102、黄 5 | 不検出 | 不検出 | 0.0008g/kg |
| 2 | たらこ | 赤 102、黄 5 | 不検出 | 不検出 | 0.0013g/kg |

※検査項目詳細：34 ページ参照

イ 魚肉練り製品の検査

| No | 検体 | 着色料 | 甘味料 | 保存料 | 亜硝酸根 | 大腸菌群 |
|----|--------|-----|-----|------------------|------|------|
| 3 | はんぺん | 不検出 | 不検出 | ソルビン酸 1.5g/kg | 不検出 | 陰性 |
| 4 | さつま揚げ | 不検出 | 不検出 | 不検出 | 不検出 | 陰性 |
| 5 | 魚肉ねり製品 | 不検出 | 不検出 | ソルビン酸 1.3g/kg | 不検出 | 陰性 |
| 6 | ちくわ | 不検出 | 不検出 | 不検出 | 不検出 | 陰性 |
| 7 | 魚肉ねり製品 | 不検出 | 不検出 | 不検出 | 不検出 | 陰性 |
| 8 | はんぺん | 不検出 | 不検出 | ソルビン酸 1.2g/kg | 不検出 | 陰性 |
| 9 | さつま揚げ | 不検出 | 不検出 | 不検出 | 不検出 | 陰性 |
| 10 | かまぼこ | 不検出 | 不検出 | 不検出 | 不検出 | 陰性 |
| 11 | ちくわ | 不検出 | 不検出 | 不検出 | 不検出 | 陰性 |
| 12 | 魚肉ねり製品 | 不検出 | 不検出 | 不検出 | 不検出 | 陰性 |

※検査項目詳細：34 ページ参照

ウ その他の魚介類加工品の検査

| No | 検体 | 着色料 | 甘味料 | 保存料 | 残留動物用医薬品 |
|----|-------|-----|-----|-----|---------------------|
| 13 | うなぎ蒲焼 | 不検出 | 不検出 | 不検出 | 不検出 |
| 14 | うなぎ蒲焼 | 不検出 | 不検出 | 不検出 | 不検出 |
| 15 | うなぎ蒲焼 | 不検出 | 不検出 | 不検出 | オキシテトラサイクリン 0.01ppm |

※検査項目詳細：34, 35 ページ参照

2 野菜・果実の検査

(1) 野菜・果実の放射性物質検査

令和2年度は、卸売市場に流通する県外産農産物を収去し、野菜類6検体の放射性物質の検査を実施した。結果は全て基準内であった。

(検査機関：さいたま市健康科学研究センター)

| 検体 | 検体数 | 産地 | 測定結果 (Cs134、Cs137の合計) |
|-------|-----|-----|--------------------------|
| キャベツ | 1 | 茨城県 | <1.7Bq/kg |
| きゅうり | 1 | 茨城県 | <4.3Bq/kg |
| なす | 1 | 群馬県 | <4.5Bq/kg |
| ねぎ | 1 | 茨城県 | <4.5Bq/kg |
| れんこん | 1 | 茨城県 | 4.9Bq/kg |
| ズッキーニ | 1 | 長野県 | <4.6Bq/kg |

検査機器：ゲルマニウム半導体検出器

(2) 野菜・果実の理化学検査

ア 野菜・果実の残留農薬検査

野菜・果実 44 検体について残留農薬の検査を実施した。

結果は全て基準内であった。

(検査機関：さいたま市健康科学研究センター)

| 検体 (検査項目数) | 検体数 | 産地 | 検出 | 検出農薬 | | |
|----------------|-----|------------------|-------|---|--|-----|
| かぶ類の根 (227) | 1 | 青森県 1 | 1 | クロルフェナピル 0.02ppm | | |
| かぶ類の葉 (214) | 1 | 青森県 1 | 1 | イプロジオン 0.01ppm クロルフェナピル 0.42ppm テフルトリン 0.01ppm | | |
| かんしょ (239) | 3 | 茨城県 1 | 0 | 不検出 | | |
| | | 千葉県 2 | 0 | 不検出 | | |
| キャベツ (228) | 5 | 茨城県 1 | 0 | 不検出 | | |
| | | 群馬県 3 | 1 | ルフェヌロン 0.03ppm | | |
| | | 千葉県 1 | 0 | 不検出 | | |
| きゅうり (192) | 4 | 茨城県 2 | 1 | プロシミドン 0.06ppm | | |
| | | 埼玉県 1 | 0 | 不検出 | | |
| | | 福島県 1 | 0 | 不検出 | | |
| こまつな (224) | 4 | 茨城県 1 | 1 | フルフェノクスロン 0.08ppm クロチアニジン 0.01ppm フルフェノクスロン 0.02ppm | | |
| | | | 群馬県 3 | 3 | チアメトキサム 0.26ppm クロチアニジン 0.03ppm フルフェノクスロン 0.05ppm チアメトキサム 0.21ppm クロチアニジン 0.03ppm フルフェノクスロン 0.02ppm | |
| | | | | 1 | 0 | 不検出 |
| | | 1 | | 0 | 不検出 | |
| | | 1 | | 0 | 不検出 | |
| | | さいとも類 (215) | 1 | 栃木県 1 | 0 | 不検出 |
| | | だいこん類の根 (220) | 3 | 青森県 1 | 0 | 不検出 |
| 茨城県 1 | 0 | | | 不検出 | | |
| 千葉県 1 | 0 | | | 不検出 | | |

| | | | | |
|-----------------|---|-------|---|---------------------------------------|
| トマト (234) | 4 | 愛知県 1 | 0 | 不検出 |
| | | 茨城県 2 | 1 | ジエントフェンカルブ 0.04ppm |
| | | 福島県 1 | 0 | 不検出 |
| なす (228) | 4 | 茨城県 1 | 1 | クロルフェナピル 0.02ppm |
| | | 群馬県 2 | 0 | 不検出 |
| | | 栃木県 1 | 0 | 不検出 |
| にんじん (217) | 1 | 栃木県 1 | 0 | 不検出 |
| ねぎ (187) | 3 | 茨城県 2 | 0 | 不検出 |
| | | 山形県 1 | 0 | 不検出 |
| はくさい (232) | 4 | 茨城県 2 | 1 | フェンバレレート 0.02ppm |
| | | 群馬県 2 | 0 | 不検出 |
| ブロッコリー (217) | 3 | 群馬県 1 | 0 | 不検出 |
| | | 埼玉県 1 | 0 | 不検出 |
| | | 福島県 1 | 0 | 不検出 |
| ほうれんそう (236) | 1 | 群馬県 1 | 1 | フルフェノクスロン 0.14ppm |
| レタス (207) | 2 | 茨城県 1 | 1 | チアメトキサム 0.01ppm |
| | | 群馬県 1 | 1 | アゾキシストロビン 0.02ppm イミダクロプリド 0.02ppm |

※検査項目詳細：36～38 ページ参照

イ 冷凍野菜の残留農薬検査

冷凍野菜 20 検体について、残留農薬の検査を実施した。

結果は全て基準内であった。 (検査機関：さいたま市健康科学研究センター)

| 検体 (検査項目数) | 検体数 | 産地 | 検出 | 検出農薬 |
|------------------|-----|--------|----|---|
| 未成熟いんげん (211) | 2 | タイ 1 | 0 | 不検出 |
| | | 中国 1 | 0 | 不検出 |
| えだまめ (239) | 2 | 中国 2 | 0 | 不検出 |
| かぼちゃ (251) | 2 | 北海道 1 | 0 | 不検出 |
| | | 中国 1 | 0 | 不検出 |
| こまつな (224) | 1 | 中国 1 | 1 | イミダクロプリド 0.03ppm ジメトモルフ 0.05pm |
| とうもろこし (229) | 4 | 北海道 1 | 0 | 不検出 |
| | | アメリカ 1 | 0 | 不検出 |
| | | 中国 2 | 0 | 不検出 |
| さといも類 (215) | 6 | 国産 1 | 0 | 不検出 |
| | | 中国 5 | 0 | 不検出 |
| にんじん (217) | 2 | 中国 2 | 0 | 不検出 |
| ほうれんそう (236) | 1 | 中国 1 | 1 | クロルフェナピル 0.03ppm イミダクロプリド 0.04ppm メトキシフェノジド 0.31ppm |

※検査項目詳細： 36～38 ページ参照

ウ 輸入果実の残留農薬及び防かび剤の検査

輸入果実6検体について、残留農薬及び防かび剤の検査を実施した。

結果は全て基準内であった。

(検査機関：さいたま市健康科学研究センター)

(ア) 残留農薬検査

| 検体 (検査項目数) | 検体数 | 産地 | 検出 | 検出農薬 |
|-------------------|-----|---------|----|--|
| オレンジ (200) | 2 | アメリカ 2 | 0 | 不検出 |
| グレープフルーツ (213) | 2 | 南アフリカ 2 | 2 | クロルピリホス 0.08ppm ピラクロストロビン 0.05ppm ピリプロキシフェン 0.04ppm イミダクロプリド 0.02ppm ピラクロストロビン 0.04ppm |
| レモン (225) | 2 | チリ 2 | 2 | クロルピリホス 0.03ppm クロルピリホス 0.05ppm |

※検査項目詳細：36～38 ページ参照

(イ) 防かび剤検査

| 検体 | 検体数 | 産地 | 検出 | 検出防かび剤 |
|----------|-----|---------|----|---|
| オレンジ | 2 | アメリカ 2 | 2 | チアベンダゾール 0.0019g/kg イマザリル 0.0015g/kg チアベンダゾール 0.0014g/kg イマザリル 0.0012g/kg |
| グレープフルーツ | 2 | 南アフリカ 2 | 2 | チアベンダゾール 0.0010g/kg イマザリル 0.0013g/kg ピリメタニル 0.0008g/kg チアベンダゾール 0.0004g/kg イマザリル 0.0018g/kg |
| レモン | 2 | チリ 2 | 2 | チアベンダゾール 0.0003g/kg イマザリル 0.0038g/kg チアベンダゾール 0.0004g/kg イマザリル 0.0013g/kg |

※検査項目詳細：34 ページ参照

(3) 野菜類漬物の添加物検査

野菜類漬物 10 検体について添加物検査を実施した。

結果は全て基準内であった。

(検査機関：さいたま市健康科学研究センター)

| 検体 | 産地 | 着色料 | 甘味料 | 保存料 |
|-------|-----|----------------|------------------------|--------------------|
| こうじ漬 | 埼玉県 | 不検出 | 不検出 | ソルビン酸 0.43 g/kg |
| 酢漬 | 山形県 | 不検出 | 不検出 | 不検出 |
| しょう油漬 | 山形県 | 不検出 | 不検出 | 不検出 |
| しょう油漬 | 宮崎県 | 不検出 | サッカリンナトリウム 0.32g/kg | ソルビン酸 0.37g/kg |
| 塩漬 | 宮崎県 | 不検出 | 不検出 | ソルビン酸 0.29g/kg |
| しょう油漬 | 埼玉県 | 不検出 | 不検出 | 不検出 |
| しょう油漬 | 福島県 | 赤 102 赤 106 | 不検出 | 不検出 |
| しょう油漬 | 群馬県 | 不検出 | 不検出 | ソルビン酸 0.72g/kg |
| しょう油漬 | 中国 | 青 1 黄 4 | 不検出 | ソルビン酸 0.63 g/kg |
| しょう油漬 | 福島県 | 不検出 | 不検出 | 不検出 |

※検査項目詳細：34 ページ参照

3 その他の食品等の検査

(1) 食肉製品の微生物及び添加物検査

食肉製品 8 検体について微生物及び添加物検査を実施した。

結果は全て基準内であった。

(検査機関：さいたま市健康科学研究センター)

ア 微生物検査

| 検体 | 食品分類 | 黄色ブドウ球菌 | E. coli | サルモネラ属菌 | リステリア・ モノサイトゲネス |
|-------------|-------|---------|---------|---------|--------------------|
| ロースハム | 加熱後包装 | 0/g | 陰性 | 陰性 | — |
| ポークソーセージ | 加熱後包装 | 0/g | 陰性 | 陰性 | — |
| ベーコン | 加熱後包装 | 0/g | 陰性 | 陰性 | — |
| ベーコン | 加熱後包装 | 0/g | 陰性 | 陰性 | — |
| ソフトサラミソーセージ | 非加熱 | 0/g | 陰性 | 陰性 | 陰性 |
| ベーコン | 加熱後包装 | 0/g | 陰性 | 陰性 | — |
| ベーコン | 加熱後包装 | 0/g | 陰性 | 陰性 | — |
| ベーコン | 加熱後包装 | 0/g | 陰性 | 陰性 | — |

イ 添加物検査

| 検体 | 食品分類 | 保存料 | 甘味料 | 着色料 | 亜硝酸根 |
|-------------|-------|-----|-----|-----|-----------|
| ロースハム | 加熱後包装 | 不検出 | 不検出 | 不検出 | 0.025g/kg |
| ポークソーセージ | 加熱後包装 | 不検出 | 不検出 | 不検出 | 0.018g/kg |
| ベーコン | 加熱後包装 | 不検出 | 不検出 | 不検出 | 0.024g/kg |
| ベーコン | 加熱後包装 | 不検出 | 不検出 | 不検出 | 0.011g/kg |
| ソフトサラミソーセージ | 非加熱 | 不検出 | 不検出 | 不検出 | 0.005g/kg |
| ベーコン | 加熱後包装 | 不検出 | 不検出 | 不検出 | 0.015g/kg |
| ベーコン | 加熱後包装 | 不検出 | 不検出 | 不検出 | 0.015g/kg |
| ベーコン | 加熱後包装 | 不検出 | 不検出 | 不検出 | 0.052g/kg |

※検査項目詳細：34 ページ参照

(2) 清涼飲料水の微生物及び理化学検査

清涼飲料水 10 検体について微生物、添加物及び重金属の検査を実施した。
結果は全て基準内であった。

(検査機関：さいたま市健康科学研究センター)

ア 微生物検査

| 検体 | 大腸菌群 |
|----------|------|
| 清涼飲料水 1 | 陰性 |
| 清涼飲料水 2 | 陰性 |
| 清涼飲料水 3 | 陰性 |
| 清涼飲料水 4 | 陰性 |
| 清涼飲料水 5 | 陰性 |
| 清涼飲料水 6 | 陰性 |
| 清涼飲料水 7 | 陰性 |
| 清涼飲料水 8 | 陰性 |
| 清涼飲料水 9 | 陰性 |
| 清涼飲料水 10 | 陰性 |

イ 添加物及び重金属の検査

| 検体 | 保存料 | 甘味料 | 着色料 | 重金属 (ヒ素、鉛) |
|----------|-----|----------------------|-----|------------|
| 清涼飲料水 1 | 不検出 | 不検出 | 不検出 | 不検出 |
| 清涼飲料水 2 | 不検出 | 不検出 | 不検出 | 不検出 |
| 清涼飲料水 3 | 不検出 | アセスルファムカリウム 0.32g/kg | — | 不検出 |
| 清涼飲料水 4 | 不検出 | 不検出 | 不検出 | 不検出 |
| 清涼飲料水 5 | 不検出 | 不検出 | 不検出 | 不検出 |
| 清涼飲料水 6 | 不検出 | アセスルファムカリウム 0.07g/kg | 不検出 | 不検出 |
| 清涼飲料水 7 | 不検出 | 不検出 | — | 不検出 |
| 清涼飲料水 8 | 不検出 | アセスルファムカリウム 0.05g/kg | 不検出 | 不検出 |
| 清涼飲料水 9 | 不検出 | 不検出 | 不検出 | 不検出 |
| 清涼飲料水 10 | 不検出 | 不検出 | 不検出 | 不検出 |

※検査項目詳細：34 ページ参照

(3) アイスクリーム類の微生物及添加物検査

アイスクリーム類 3 検体について微生物及び添加物検査を実施した。

結果は全て基準内であった。

(検査機関：さいたま市健康科学研究センター)

| 検体 | 保存料 | 甘味料 | 着色料 | 細菌数 | 大腸菌群 |
|--------|-----|-----|-----|---------|------|
| 氷菓 | 不検出 | 不検出 | 不検出 | < 30/g | 陰性 |
| アイスマルク | 不検出 | 不検出 | 不検出 | < 300/g | 陰性 |
| アイスマルク | 不検出 | 不検出 | 不検出 | < 300/g | 陰性 |

※検査項目詳細：34 ページ参照

(4) 生めんの微生物及び理化学検査

生めん4検体について、微生物及び理化学検査を実施した。

結果は全て基準内であった。

(検査機関：さいたま市健康科学研究センター)

| 検体 | 細菌数 | E. coli | 黄色ブドウ 球菌 | プロピレングリコール |
|------|---------------------|---------|-------------|------------|
| 生めん1 | $2.5 \times 10^4/g$ | 陰性 | 陰性 | 0.81% |
| 生めん2 | $5.8 \times 10^5/g$ | 陰性 | 陰性 | 0.68% |
| 生めん3 | $7.3 \times 10^3/g$ | 陰性 | 陰性 | 0.95% |
| 生めん4 | $<3,000/g$ | 陰性 | 陰性 | 0.80% |

(5) その他の食品の微生物検査

冷凍食品 11 検体、氷雪 2 検体について、微生物検査を実施した。

結果は全て基準内であった。

(検査機関：さいたま市健康科学研究センター)

ア 冷凍食品の微生物検査

| 検体 | 食品分類 | 細菌数 | E. coli | 大腸菌群 |
|----------|-----------|----------|---------|------|
| 焼売 | 無加熱 | <3,000/g | — | 陰性 |
| ぎょうぎ | 凍結前未加熱加熱後 | <3,000/g | 陰性 | — |
| 焼おにぎり | 凍結前加熱加熱後 | <3,000/g | — | 陰性 |
| オムレツ | 凍結前加熱加熱後 | <3,000/g | — | 陰性 |
| メンチカツ | 凍結前未加熱加熱後 | <3,000/g | 陰性 | — |
| 生どらやき | 無加熱 | <3,000/g | — | 陰性 |
| 蓮根の挟み揚げ | 無加熱 | <3,000/g | — | 陰性 |
| ハンバーグ | 凍結前加熱加熱後 | <3,000/g | — | 陰性 |
| 鶏なんこつ唐揚げ | 凍結前未加熱加熱後 | <3,000/g | 陰性 | — |
| エビフライ | 凍結前未加熱加熱後 | <3,000/g | 陰性 | — |
| ほたるいか醤油漬 | 無加熱 | <3,000/g | — | 陰性 |

イ 氷雪の微生物検査

| 検体 | 細菌数 | 大腸菌群 |
|------|--------|------|
| 氷雪 1 | <30/ml | 陰性 |
| 氷雪 2 | <30/ml | 陰性 |

(6) その他の食品等の理化学検査

鶏卵4検体について、理化学検査を実施した。

結果は全て基準内であった。

(検査機関：さいたま市健康科学研究センター)

ア 鶏卵の理化学検査

| 検体 (検査項目数) | 産地 | 残留動物用 医薬品 |
|------------|-----|--------------|
| 鶏卵1 (46) | 青森県 | 不検出 |
| 鶏卵2 (46) | 岩手県 | 不検出 |
| 鶏卵3 (46) | 茨城県 | 不検出 |
| 鶏卵4 (46) | 岩手県 | 不検出 |

※検査項目詳細：35 ページ参照

4 市場監視係検査室における現場検査

市場内監視指導の一環として、活魚水槽水の腸炎ビブリオ汚染実態調査、卸売市場セリ場の衛生実態調査を行い、結果に基づき助言及び指導を行った。

(検査機関：市場監視係)

(1) 活魚水槽水の腸炎ビブリオ汚染実態調査

卸売業者及び仲卸店舗が所有する活魚水槽の水槽水について、腸炎ビブリオ最確数の検査を実施し、結果に基づき衛生指導を行った。

実施期間：令和2年6月～11月

| 水槽名 | 検査項目 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 |
|------------------|-----------------|------|------|------|------|------|------|
| 仕分け水槽 | 水温 (°C) | 19.8 | 18.2 | 18.9 | 18.8 | 18.6 | 16.4 |
| | 塩分濃度 (%) | 2.7 | 2.8 | 2.6 | 2.7 | 3.0 | 3.0 |
| | 腸炎ビブリオ (CFU/mL) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 新水槽 | 水温 (°C) | 18.8 | 17.7 | 16.7 | 17.5 | 17.9 | 16.9 |
| | 塩分濃度 (%) | 2.6 | 2.8 | 2.6 | 2.7 | 3.0 | 3.0 |
| | 腸炎ビブリオ (CFU/mL) | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 |
| 卸売業者所有 せり用水槽1 | 水温 (°C) | 19.4 | 17.8 | 18.1 | 17.9 | 18.1 | 17.3 |
| | 塩分濃度 (%) | 2.6 | 2.8 | 2.6 | 2.7 | 3.0 | 3.0 |
| | 腸炎ビブリオ (CFU/mL) | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| せり用水槽2 | 水温 (°C) | 22.5 | 19.7 | 17.8 | 17.9 | 18.4 | 17.3 |
| | 塩分濃度 (%) | 2.6 | 2.7 | 2.6 | 2.7 | 3.0 | 3.0 |
| | 腸炎ビブリオ (CFU/mL) | 12 | 0 | 0 | 0 | 18 | 6 |
| 仲卸用水槽 | 水温 (°C) | 22.4 | 19.6 | 27.8 | 21.6 | 19.5 | 10.6 |
| | 塩分濃度 (%) | 1.6 | 2.4 | 2.3 | 2.7 | 2.8 | 2.7 |
| | 腸炎ビブリオ (CFU/mL) | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 |

(2) 卸売市場セリ場の衛生実態調査

監視指導の一環として、マグロ低温セリ場施設内のふき取り検査を実施し、衛生状態の把握及び結果に基づく衛生指導を行った。

実施月：令和2年6月、7月、10月

検体採取場所：マグロ低温セリ場内の床、マグロ台、取っ手、蛇口、石鹼ポンプヘッド等、21か所

検体数：計63検体

項目：一般生菌数、大腸菌数及び大腸菌群数

5 理化学検査項目詳細

着色料：26 項目

青色 1 号、青色 2 号、赤色 2 号、赤色 3 号、赤色 40 号、赤色 102 号、赤色 104 号、赤色 105 号、赤色 106 号、緑色 3 号、黄色 4 号、黄色 5 号、ポンソー3R、ポンソーSX、ポンソーR、エオシン、ナフトールイエローS、ライトグリーンSF 黄色、オレンジⅠ、オレンジⅡ、マーチウスイエローS、ウラニン、ギネアグリーンB、ブリリアントミリンググリーン、アズールブルーVX、アシッドバイオレット 6B

甘味料：2 項目

サッカリンナトリウム、アセスルファムカリウム

保存料：3 項目

ソルビン酸、安息香酸、デヒドロ酢酸ナトリウム

酸化防止剤：5 項目

BHT（ジブチルヒドロキシトルエン）、BHA（ブチルヒドロキシアニソール）、没食子酸プロピル、没食子酸オクチル、NDGA（ノルジヒドログアヤレチック酸）

防かび剤：7 項目

アゾキシストロビン、イマザリル、オルトフェニルフェノール（OPP）、ジフェニル（DP）、チアベンダゾール（TBZ）、ピリメタニル、フルジオキサニル

残留動物用医薬品、残留農薬（次ページ）

令和2年度 残留動物用医薬品検査実施項目

| 番号 | 項目名 | 番号 | 項目名 |
|----|---|----|--------------------------|
| 1 | 2-アセチルアミノ-5-ニトロチアゾール | 31 | スルファメトキシピリダジン |
| 2 | アルベンダゾール代謝物 | 32 | スルファメラジン |
| 3 | エトパベート | 33 | スルファモノメトキシ |
| 4 | エリスロマイシン | 34 | タイロシン |
| 5 | エンロフロキサシン (シプロフロキサシンを含む) | 35 | ダノフロキサシン |
| 6 | オキシテトラサイクリン(魚介類) | 36 | チアベンダゾール(チアベンダゾール代謝物を含む) |
| 7 | テトラサイクリン・オキシテトラサイクリン・ク ロルテトラサイクリン(畜産物) | 37 | チアムリン |
| 8 | オキシベンダゾール | 38 | チアンフェニコール |
| 9 | オキシリン酸 | 39 | チルミコシン |
| 10 | オフロキサシン | 40 | トリクロルフォン |
| 11 | オルビフロキサシン | 41 | トリペレナミン |
| 12 | オルメトプリム | 42 | トリメトプリム |
| 13 | キシラジン | 43 | ナリジクス酸 |
| 14 | クロキサシリン | 44 | ピランテル |
| 15 | クロピドール | 45 | ピリメタミン |
| 16 | ジアベリジン | 46 | ピロミド酸 |
| 17 | ジフルベンズロン | 47 | ファムフル |
| 18 | スピラマイシン(ネオスピラマイシンを含む) | 48 | フェノキシメチルペニシリン |
| 19 | スルファキノキサリン | 49 | フェノブカルブ |
| 20 | スルファクロルピリダジン | 50 | フルニキシ |
| 21 | スルファジアジン | 51 | フルベンダゾール |
| 22 | スルファジミジン | 52 | フルメキュイン |
| 23 | スルファジメトキシ | 53 | ベンジルペニシリン |
| 24 | スルファセタミド | 54 | ミロキサシン |
| 25 | スルファチアゾール | 55 | メベンダゾール |
| 26 | スルファドキシ | 56 | モネンシン |
| 27 | スルファニトラン | 57 | リファキシミン |
| 28 | スルファピリジン | 58 | リンコマイシン |
| 29 | スルファベンザミド | 59 | レバミゾール |
| 30 | スルファメトキサゾール | 60 | 酢酸メレンゲステロール |

令和2年4月13日時点

令和2年度 残留農薬検査実施項目

| 番号 | 項目名 | 番号 | 項目名 |
|----|-----------------|-----|--------------|
| 1 | 2-(1-ナフチル)アセタミド | 51 | カフェンストロール |
| 2 | BHC | 52 | カルバリル |
| 3 | DDT | 53 | カルフェントラゾンエチル |
| 4 | EPN | 54 | カルプロパミド |
| 5 | TCMTB | 55 | カルボスルファン |
| 6 | XMC | 56 | カルボフェノチオン |
| 7 | アクリナトリン | 57 | カルボフラン |
| 8 | アザコナゾール | 58 | キシリルカルブ |
| 9 | アザメチホス | 59 | キナルホス |
| 10 | アジンホスエチル | 60 | キノキシフェン |
| 11 | アジンホスメチル | 61 | キャプタン |
| 12 | アゾキシストロビン | 62 | キントゼン |
| 13 | アトラジン | 63 | クミルロン |
| 14 | アニロホス | 64 | クレソキシムメチル |
| 15 | アミノカルブ | 65 | クロキントセットメキシル |
| 16 | アメトリン | 66 | クロゾリネート |
| 17 | アラクロール | 67 | クロチアニジン |
| 18 | アルドリン及びディルドリン | 68 | クロマゾン |
| 19 | イサゾホス | 69 | クロマフェノジド |
| 20 | イソカルボホス | 70 | クロリダゾン |
| 21 | イソキサチオン | 71 | クロルタールジメチル |
| 22 | イソキサフルトール | 72 | クロルピリホス |
| 23 | イソプロカルブ | 73 | クロルピリホスメチル |
| 24 | イソプロチオラン | 74 | クロルフェナピル |
| 25 | イプロジオン | 75 | クロルフェンソン |
| 26 | イプロバリカルブ | 76 | クロルフェンビンホス |
| 27 | イプロベンホス | 77 | クロルブファム |
| 28 | イマザメタベンズメチルエステル | 78 | クロルプロファム |
| 29 | イマザリル | 79 | クロルベンシド |
| 30 | イミダクロプリド | 80 | クロロクスロン |
| 31 | インダノファン | 81 | クロロベンジレート |
| 32 | インドキサカルブ | 82 | サリチオン |
| 33 | エスプロカルブ | 83 | シアナジン |
| 34 | エタルフルラリン | 84 | シアノフェンホス |
| 35 | エチオフェンカルブ | 85 | シアノホス |
| 36 | エチオン | 86 | ジウロン |
| 37 | エディフェンホス | 87 | ジエトフェンカルブ |
| 38 | エトフェンプロックス | 88 | ジオキサカルブ |
| 39 | エトプロホス | 89 | ジオキサチオン |
| 40 | エポキシコナゾール | 90 | ジクロシメット |
| 41 | エンドスルファン | 91 | ジクロトホス |
| 42 | エンドリン | 92 | ジクロフェンチオン |
| 43 | オキサジアゾン | 93 | ジクロブトラゾール |
| 44 | オキサジキシル | 94 | ジクロフルアニド |
| 45 | オキサジクロメホン | 95 | ジクロホップメチル |
| 46 | オキサミル | 96 | ジクロラン |
| 47 | オキシカルボキシン | 97 | ジチオピル |
| 48 | オキシフルオルフェン | 98 | シハロトリン |
| 49 | オリザリン | 99 | シハロホップブチル |
| 50 | カズサホス | 100 | ジフェナミド |

| 番号 | 項目名 | 番号 | 項目名 |
|-----|------------|-----|--------------|
| 101 | ジフェノコナゾール | 151 | トリフルラリン |
| 102 | シフルトリン | 152 | トリフロキシストロビン |
| 103 | シフルフェナミド | 153 | トリメタカルブ |
| 104 | シプロコナゾール | 154 | トルクロホスメチル |
| 105 | シベルメトリン | 155 | トルフェンピラド |
| 106 | シマジン | 156 | ナプロアニリド |
| 107 | シメコナゾール | 157 | ナプロパミド |
| 108 | ジメタメトリン | 158 | ニトロタールイソプロピル |
| 109 | ジメチピン | 159 | ノバルロン |
| 110 | ジメチリモール | 160 | パクロブトラゾール |
| 111 | ジメチルビンホス | 161 | パラチオン |
| 112 | ジメテナミド | 162 | パラチオンメチル |
| 113 | ジメトエート | 163 | ハルフェンプロックス |
| 114 | ジメトモルフ | 164 | ビフェノックス |
| 115 | シメトリン | 165 | ビフェントリン |
| 116 | ジメピペレート | 166 | ピペロニルブトキシド |
| 117 | シラフルオフエン | 167 | ピペロホス |
| 118 | スピノサド | 168 | ピラクロストロビン |
| 119 | スピロジクロフェン | 169 | ピラクロホス |
| 120 | スルプロホス | 170 | ピラゾホス |
| 121 | ゾキサミド | 171 | ピラゾリネート |
| 122 | ターバシル | 172 | ピラフルフェンエチル |
| 123 | ダイアジノン | 173 | ピリダフェンチオン |
| 124 | ダイムロン | 174 | ピリダベン |
| 125 | チアクロプリド | 175 | ピリフェノックス |
| 126 | チアメトキサム | 176 | ピリフタリド |
| 127 | チオベンカルブ | 177 | ピリブチカルブ |
| 128 | チオメトン | 178 | ピリプロキシフェン |
| 129 | チフルザミド | 179 | ピリミカーブ |
| 130 | テクナゼン | 180 | ピリミジフェン |
| 131 | テトラクロルビンホス | 181 | ピリミノバック-メチル |
| 132 | テトラコナゾール | 182 | ピリミホスメチル |
| 133 | テトラジホン | 183 | ピロキロン |
| 134 | テニルクロール | 184 | ビンクロゾリン |
| 135 | テブコナゾール | 185 | フィプロニル |
| 136 | テブチウロン | 186 | フェナミホス |
| 137 | テブフェノジド | 187 | フェナリモル |
| 138 | テブフェンピラド | 188 | フェニトロチオン |
| 139 | テフルトリン | 189 | フェノキサニル |
| 140 | テフルベンズロン | 190 | フェノキシカルブ |
| 141 | デメトン-S-メチル | 191 | フェノチオカルブ |
| 142 | テルブカルブ | 192 | フェノブカルブ |
| 143 | テルブトリン | 193 | フェリムゾン |
| 144 | テルブホス | 194 | フェンアミドン |
| 145 | トリアジメホン | 195 | フェンクロルホス |
| 146 | トリアゾホス | 196 | フェンスルホチオン |
| 147 | トリアレート | 197 | フェントエート |
| 148 | トリチコナゾール | 198 | フェンバレレート |
| 149 | トリブホス | 199 | フェンピロキシメート |
| 150 | トリフルムロン | 200 | フェンブコナゾール |

| 番号 | 項目名 | 番号 | 項目名 |
|-----|--------------|-----|-------------|
| 201 | フェンプロパトリン | 251 | ペンコナゾール |
| 202 | フェンプロピモルフ | 252 | ペンシクロン |
| 203 | フェンメディファム | 253 | ベンゾフェナップ |
| 204 | フォノホス | 254 | ベンダイオカルブ |
| 205 | フサライド | 255 | ペンディメタリン |
| 206 | ブタクロール | 256 | ベンフラカルブ |
| 207 | ブタフェナシル | 257 | ベンフルラリン |
| 208 | ブタミホス | 258 | ベンフレセート |
| 209 | ブピリメート | 259 | ホサロン |
| 210 | ブプロフェジン | 260 | ボスカリド |
| 211 | フラチオカルブ | 261 | ホスチアゼート |
| 212 | フラムプロップメチル | 262 | ホスファミドン |
| 213 | フルアクリピリム | 263 | ホスメット |
| 214 | フルキンコナゾール | 264 | ホルモチオン |
| 215 | フルジオキソニル | 265 | ホレート |
| 216 | フルシトリネート | 266 | マラチオン |
| 217 | フルシラゾール | 267 | ミクロブタニル |
| 218 | フルチアセットメチル | 268 | メカルバム |
| 219 | フルトラニル | 269 | メタベンズチアズロン |
| 220 | フルトリアホール | 270 | メチダチオン |
| 221 | フルバリネート | 271 | メトキシクロール |
| 222 | フルフェノクスロン | 272 | メトキシフェノジド |
| 223 | フルフェンピルエチル | 273 | メトミノストロビン |
| 224 | フルミオキサジン | 274 | メトラクロール |
| 225 | フルミクロラックペンチル | 275 | メビンホス |
| 226 | フルリドン | 276 | メフェナセット |
| 227 | プレチラクロール | 277 | メフェンピル-ジエチル |
| 228 | プロシミドン | 278 | メプロニル |
| 229 | プロチオホス | 279 | モノクロトホス |
| 230 | プロパキザホップ | 280 | モノリニューロン |
| 231 | プロパジン | 281 | ラクトフェン |
| 232 | プロパホス | 282 | リニューロン |
| 233 | プロピコナゾール | 283 | ルフェヌロン |
| 234 | プロピザミド | | |
| 235 | プロフェノホス | | |
| 236 | プロボキスル | | |
| 237 | ブロマシル | | |
| 238 | プロメカルブ | | |
| 239 | プロメトリン | | |
| 240 | ブロモプロピレート | | |
| 241 | ブロモホス | | |
| 242 | ブロモホスエチル | | |
| 243 | ヘキサコナゾール | | |
| 244 | ヘキサジノン | | |
| 245 | ヘキサフルムロン | | |
| 246 | ヘキシチアゾクス | | |
| 247 | ベナラキシル | | |
| 248 | ベノキサコール | | |
| 249 | ヘプタクロル | | |
| 250 | ペルメトリン | | |

令和2年4月1日時点

第3 行政処分等

立入検査により、違反施設等 28 件及び違反食品等 14 件を発見した。

違反食品の内訳は、主に食品表示法第 5 条（衛生事項）違反であり、口頭指導、口頭説諭等の措置を行った。

1 違反施設等

| 違反条項 | 違反内容 | 総数 | 大宮 | 浦和 | 措置 |
|--------------|--------|----|----|----|------|
| 法第 50 条第 3 項 | 管理運営基準 | 14 | 3 | 11 | 口頭指導 |
| 法第 51 条 | 施設基準 | 3 | 2 | 1 | 口頭指導 |
| 法第 52 条第 1 項 | 無許可営業 | 11 | 1 | 10 | 口頭指導 |
| 法第 52 条第 3 項 | 許可条件 | 0 | 0 | 0 | 口頭指導 |
| 合計 | | 28 | 6 | 22 | |

2 違反食品等

(1) 監視時に発見した違反食品等

| 違反条項 | 違反内容 | 総数 | 大宮 | 浦和 | 措置 |
|-------------------------------------|--------|----|----|----|------|
| 法第 6 条 | 消費期限切等 | 1 | 1 | 0 | 口頭指導 |
| 法第 11 条第 2 項 | 保存基準違反 | 1 | 1 | 0 | 口頭指導 |
| 条例及び通知に関する事 （埼玉県ふぐの取り扱い等に関する条例等） | 無表示等 | 0 | 0 | 0 | 口頭指導 |
| 食品表示法第 5 条（衛生事項） | 無表示等 | 12 | 1 | 11 | 口頭指導 |
| 合計 | | 14 | 3 | 11 | |

(2) 収去等検査により違反が判明した食品

特筆すべき事例はありませんでした。

(3) 相談事例等

特筆すべき事例はありませんでした。